

◆ 令和5年度 部長マニフェスト ◆地域包括ケア・健康づくり推進担当部長

部の概要

所属課と人員
(R5.4.1現在)

(健康福祉部に含む)

一人



部の運営方針

市民とまちのウェルビーイングのため、個人や個人を取り巻く社会の健康に影響を与える要因に対し、関係機関と連携しながら、ソフト、ハードの両面からの社会資源としての創造を図り、健康を支えるシステムを共に創っていきます。また、高齢者等が、住み慣れた地域で安心して尊厳あるその人らしい生活を継続することができるよう、高齢者の支援、支援者の後方支援、地域づくりに取り組んでまいります。新型コロナウイルス感染症対策については、過去3年間の感染症対策の取り組みをまとめ、今後の対策につなげていきます。

令和5年度の重点項目

No.	項目	具体的内容	達成状況(年度末評価)	達成度
1	健康まちづくり戦略におけるプランの策定	・地域で実施する事業の一環として市民への健康まちづくり戦略の周知及び市民の意見を聞けるような取り組みを展開していきます。 ・外部講師を招いての勉強会を重ね、ウェルビーイングの市政について庁内の醸成を図りつつ健康まちづくり戦略におけるプランを策定します。	・健康まちづくり戦略に関するワークショップやプラン案説明会を開催し意見交換を行いました。また、他部署のイベント等でも健康まちづくりの周知に努めました。 ・外部講師を招いての勉強会を5月から10月まで月1回、計6回実施し、健康まちづくり戦略について庁内で考え方の共有を図りました。これらの取り組みを踏まえ、3月に健康まちづくりプランを策定しました。	A
2	健康づくりと介護予防の推進	・市民講師による健康教育の実施、連携協定企業の活用、健康ポイントの試行などの健康づくりに取り組みます。 ・データを分析し、エビデンスに基づく事業の展開をさらに進めます。 ・健診と介護予防事業が連動する仕組みの構築の検討に努めます。	・健康づくり推進員(市民)が講師になり、認知症についての講話を推進員連絡会にて実施しました。2月に連携協定企業の協力を得て、血管年齢測定や野菜摂取量の測定、女性の健康に関する講演会を実施しました。リニューアルしたマップ(いい日くたちおでかけマップ)に関する健康ポイント事業を試行的に実施しました。 ・健診結果をもとに「血管長持ち大作戦」や特定保健指導を実施しました。 ・KDB(国保データベース)を活用して、後期高齢者医療健診の問診結果から介護予防事業対象者を抽出し、個別通知する仕組みを構築しました。	A
3	地域包括ケアの推進	・地域包括支援センターがおこなう総合相談事業、地域づくりに関わる事業、認知症総合支援事業等について整理し、地域包括ケアの取り組みを推進します。 ・ポストコロナ時代における新たな形の高齢者福祉施策に取り組みます。	・総合相談事業や地域づくりに関わる事業については、関係部署で協議を重ね、令和6年度より重層的支援体制整備事業を実施できるよう整理しました。認知症施策についても認知症総合事業として事業整理を行いました。これらの事業については、3月に策定した地域包括ケア計画にまとめました。 ・コロナ禍で中止していた敬老大会を4年ぶりに新たな形で実施しました。芸術小ホールをメイン会場とし、他2会場の中継会場ではライブ配信を鑑賞する形式で行いました。またYouTubeの国立市チャンネルで同時配信及びアーカイブ配信を行いました。	B
4	地域医療計画の推進	・地域医療計画を推進するために、市民勉強会を関係機関との連携のうえ実施します。 ・令和4年度から市に配置した在宅療養専門指導医からの助言を受けながら、在宅療養支援を推進します。	・ACP(アドバンスケアプランニング)とエンディングノートについての市民勉強会を実施する中で地域医療計画について周知しました。 ・在宅療養専門指導医連絡会は1回実施するにとどまりましたが、新型コロナウイルス感染症等の感染状況と医療的ケア児支援について協議しました。	B
5	新型コロナウイルス感染症対策の振り返りと評価	・三年間の新型コロナウイルス感染症対策を振り返り評価検討し、まとめていきます。	・各部署の協力を得て、これまでの取り組みのまとめとして、3月に「国立市の新型コロナウイルス感染症に対する取り組みについて～振り返りと総括～」を作成しました。	A

【達成度】 A…100% B…80%以上100%未満 C…50%以上80%未満 D25%以上50%未満 E25%未満